

- 問1 日本の農業において、長野県などの高冷地で生産が盛んな「レタス」の生産・流通に関する記述として正しいものはどれですか。 (2018年 千葉県公立入試 類似)
1. 大消費地である東京に隣接しているため、トラックによる短時間の輸送で鮮度を保って出荷される。 2. 冬の温暖な気候を利用した促成栽培により、暖房費用を抑えて冬から春に出荷される。 3. 夏の涼しい気候を利用した抑制栽培により、他の産地の出荷が減る時期に市場へ供給される。 4. 水はけの良い火山灰地が広がっているため、夏でも乾燥に強い品種として生産されている。
- 問2 本州の中央部に位置し、飛騨山脈、木曽山脈、赤石山脈という標高3000m級の険しい山々が連なっている地域は、「日本の屋根」とも呼ばれています。これら3つの山脈の総称は何ですか。 (2025年 青森県公立入試 類似)
1. 関東山地 2. 越後山脈 3. 奥羽山脈 4. 日本アルプス
- 問3 日本の農産物の統計において、中部地方はレタスの収穫量が6月から10月の時期に突出して多く、他の地方と対照的な傾向が見られます。このように、標高の高い地域の涼しい気候を利用して、平地の出荷が少なくなる時期に栽培を行う農業形態を何といいますか。 (2016年 岐阜県公立入試 類似)
1. 促成栽培 2. 近郊農業 3. 二毛作 4. 高冷地農業
- 問4 日本の気候区分において、冬にシベリア方面から吹き込む北西の季節風が日本海の上空で水分を蓄え、山脈にぶつかることで雪や雨を降らせる結果、冬の降水量が夏よりも多くなる地域を何と呼びますか。 (2022年 群馬県公立入試 類似)
1. 日本海側の気候 2. 瀬戸内の気候 3. 太平洋側の気候 4. 中央高地の気候
- 問5 日本の工業地帯・地域別の統計において、全国の工業生産額の約27.1%を占め、第1位となっている地域の特徴として最も適当なものはどれか。 (2015年 大分県公立入試 類似)
1. 印刷・出版業が集積し、東京都を中心とした巨大な消費地に隣接する京浜工業地帯を中心としている。 2. 古くから繊維工業や金属工業が発展し、現在は中小の機械工場が密集する阪神工業地帯を含んでいる。 3. 自動車産業の強力な集積を背景に、輸送用機械の製造品出荷額が非常に多い中京工業地帯を含んでいる。 4. 石油化学コンビナートが沿岸部に形成され、化学工業の割合が高い瀬戸内工業地域を中心としている。
- 問6 新潟県の工業において、化学工業と食品工業の出荷額割合が高い背景を説明したものとして、最も適切な内容を選択してください。 (2026年 三重県公立入試 類似)
1. 大規模な水力発電による安価な電力を利用したアルミニウム製錬と、果実栽培を活かした飲料製造が結びついたため 2. 沿岸部の石油化学コンビナートによる製品製造に加え、豊かな農産物を原料とした加工業が発達しているため 3. 高速道路網の整備により、内陸部に電子部品の工場が進出し、それらを活用した食品包装機械の製造が盛んなため 4. 中京工業地帯の延長として自動車産業が拡大し、関連する化学素材の供給と労働者向けの食料供給が定着したため
- 問7 中部地方における発電所の分布を示した資料において、伊勢湾や太平洋の沿岸部に集中している発電所と、福井県の若狭湾沿いや静岡県海岸沿いに点在している発電所の種類について、正しく説明しているものはどれですか。 (2025年 和歌山県公立入試 類似)
1. 伊勢湾などの沿岸部には山地から流れる水を利用する水力発電所が、福井県や静岡県の沿岸部には火力発電所が配置されている。 2. 伊勢湾などの沿岸部には広大な土地を利用する太陽光発電所が、福井県や静岡県の沿岸部には大規模な水力発電所が配置されている。 3. 伊勢湾などの沿岸部には大都市へ電力を供給する火力発電所が、福井県や静岡県の沿岸部には原子力発電所が配置されている。 4. 伊勢湾などの沿岸部には原子力発電所が、福井県や静岡県の沿岸部には輸入燃料を効率よく活用する火力発電所が配置されている。
- 問8 本州の中央部、日本海側に位置する県の地理的特徴について述べた文として、正しいものはどれか。なお、この県は中部地方（北陸地方）に属し、石川県、京都府、滋賀県、岐阜県の4県と隣接しているものとする。 (2022年 愛媛県公立入試 類似)
1. 日本海に面しており、県南部にはリアス海岸が発達した若狭湾がある福井県である。 2. 日本海に面しているが、中部地方ではなく近畿地方に分類される京都府である。 3. 県域のすべてが内陸に位置しており、日本海には面していない滋賀県である。 4. 日本海に面しており、能登半島が北側に大きく突き出している石川県である。
- 問9 愛知県の工業に関する統計において、1960年から2014年にかけて工場の数にあたる事業所数は減少している一方で、製造品出荷額は1.4兆円から43.8兆円へと劇的に増加しています。この変化の背景として、2014年時点で出荷額全体の約7割を占めるまで成長し、愛知県の経済を支えている工業分野を次の中から選びなさい。 (2018年 埼玉県公立入試 類似)
1. 古くから地域の経済を支えてきた伝統的なせんい工業 2. 全国的な需要拡大に伴い事業所数が増加した木材・木製品工業 3. 沿岸部のコンビナートで発展した基礎素材を作る金属工業 4. 自動車などの輸送用機械を中心とした機械工業
- 問10 山梨県、群馬県、岐阜県、富山県などに囲まれた本州中央部の内陸県で、平均標高が1000メートルを超える地形的特徴を持つ長野県において、その環境を活かして生産が盛んに行われている農産物の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2018年 高知県公立入試 類似)
1. レタスやハクサイなどの高原野菜 2. ピーマンやナスなどの促成栽培による夏野菜 3. みかんやオリーブなどの耐乾性果樹 4. サトウキビやパイナップルなどの亜熱帯作物
- 問11 北陸地方のある都市の統計において、十二月から二月にかけての降水量が月間三百五十ミリメートルを超えて突出して多く、同時期の気温が〇度近くまで低下するという特徴が見られます。このような気候条件を持つ地域で、古くから伝統的な工芸品の製造が発達した理由として最も適切な説明を選びなさい。 (2017年 高知県公立入試 類似)
1. 台風による被害が多く、農作物の収穫が不安定だったため、安定した収入を求めて重化学工業が発達したから。 2. 冬の積雪により屋外での農作業が困難になるため、屋内でできる手仕事で農家の副業として定着したから。 3. 一年を通じて温暖な気候であり、原材料となる植物の栽培と加工が冬場に効率よく行えたから。 4. 夏の期間に雨が少なく乾燥するため、農作業の代わりに伝統的な技術を用いた工業が発展したから。
- 問12 中部地方の3つの都市について、1月の気温と降水量のデータを確認したところ、ある都市では1月の平均気温がマイナス0.5度と低く、1月の降水量も約30mmと非常に少なくなっていました。このような特徴を持つ「内陸の気候」がみられる都市として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 埼玉県公立入試 類似)
1. 上越市 2. 浜松市 3. 上田市 4. 金沢市
- 問13 富山県では、江戸時代から「配置売薬」と呼ばれる独自の商法が発達した歴史があります。この伝統的な背景をもとに、現代の富山県において製造品出荷額等の割合が全国平均に比べて高くなっている工業分野として、適切なものはどれですか。 (2023年 富山県公立入試 類似)
1. 医薬品（化学工業） 2. 鉄鋼 3. 石油化学 4. 輸送用機械